

経費精算システムの選定ポイント

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

1. 自社の課題を解決できるか
2. 製品ターゲットが自社に合っているか
3. 周辺システムと連携できるか
4. ペーパーレス化できるか

自社の課題を明確にしてからでないと、自社に適したシステムを選ぶことはできません。まずは自社の課題を洗い出し、どのような機能が必要なのかを考えてからシステムの選択を始めましょう。

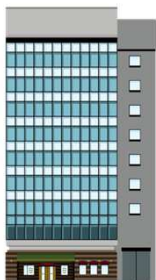
課題例

- 従業員が経費申請が手入力で行われ、申請に多くの時間を要している。
- 経理部の申請内容チェック作業に時間を要している。
- 伝票担当者が申請された精算書を基にSAPに変換入力している。

求められる機能

- 乗換案内/日当自動計算/交際費自動計算など、入力工数を軽減する機能
- 承認までの時間を短縮できるワークフロー機能
- SAP連携機能と、自社に合わせた連携を行うためのベンダーの十分な知識

経費精算システムは、大企業を対象とした多機能型の経費精算システムから、中堅・中小企業向けのパッケージソフトウェアまで多種多様です。自社の会社規模や経理業務において抱えている課題を整理しておきましょう。



大企業向け

- メリット** ・ 機能が充実している
- デメリット** ・ 多機能の分、高額



中堅企業向け

- メリット** ・ 機能と価格のバランスがよく使いやすい
- デメリット** ・ 大企業向けに比べると機能が不足している場合がある



スタートアップ向け

- メリット** ・ 「一人当たり月額200円」など導入しやすい価格設定
- デメリット** ・ 必要な機能が不足している場合がある

会計システムなどと連携させることで、経理業務全体の業務効率化を図ることができます。特に、SAPなどの基幹システムを構築している企業は、ベンダーがそのシステムを熟知しているかどうかを確認すべきポイントとなります。



電子帳簿保存法に対応しているシステムなら、領収書証を電子化することでファイリングが不要となり、倉庫スペースを削減できます。また、監査/税務調査や過去書類の閲覧のための検索対応の時間も削減できます。



「MAJOR FLOW Z KEIHI」は機能と価格のバランスがよく、中堅規模のお客様に適した経費精算システムです。大企業のお客様にも十分ご活用いただけるだけの機能を有しています。多彩な会計システムとの連携機能を標準搭載しており、電子帳簿保存法にもオプション対応しています。

主な機能

乗換案内Biz.
経路・運賃検索で最適精算
「乗換案内」連携


ワンタッチで取込み
「交通系ICカード」連携


該当区間の運賃を自動控除
定期区間の自動控除


複数通貨の混在にも対応
海外出張精算


会議費と交際費に自動振分
交際費精算


取引先からの請求書を処理
支払依頼


会計データを自動生成
自動仕訳/会計連携


FBデータや給与支払
支払処理


条件指定でExcel出力
各種帳票(支払一覧等)

【主な導入企業様】

- 株式会社高島屋 様
- 株式会社奥村組 様
- 株式会社J-オイルミルズ 様
- 群馬農協電算センター 様
- 全日本ライン株式会社 様
- ユニ・チャーム株式会社
- ピー・シー・エー株式会社 様

お問い合わせ先

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

TEL : 03-5715-5470

E-mail : sales-pisc@ml.jp.panasonic.com